



誰もが読書をできる社会の実現のために 今できること

誰もが読書をできる社会の実現を目指して、令和元年(2019年)6月、「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律」(通称：読書バリアフリー法)が成立しました。



点字と録音図書のコーナー

様々な障害のある方が、利用しやすい形式で本の内容にアクセスでき、誰もが利用できる図書館となるよう、広島市立図書館においても環境整備に取り組んでいます。

令和8年4月にエールエールHIROSHIMAに移転・開館した広島市立中央図書館の10階「図書と映像のフロア」には、新たに「点字と録音図書のコーナー」ができました。点字資料やデージー図書(録音図書)を配置しています。コーナーの近くに対面朗読室が2部屋あり、視覚に障害がある方などを対象に、対面で朗読するサービスを行っています。

8階「こどもと青少年のフロア」には、様々な理由で本を読むことが難しいこどもたちを対象としたコーナー「りんごの棚」ができました。大活字本、点



りんごの棚

字付きのさわる絵本、布の絵本、LLブック、デージー図書などを配置しています。

また、各階に、文字を拡大して表示する拡大読書器や文字を読み上げる音声読書機を備えた閲覧席を設けています。

館内で御利用いただける書見台や拡大鏡、リーディングトラッカーなどの読書補助具も各カウンターで貸出しています。



読書補助具

障害などで図書館への来館が困難な方には、図書や録音図書の郵送貸出サービスを行っています。サービスの利用には、手続きが必要ですので、詳しくはホームページでご確認いただくか中央図書館にお問い合わせください。

市立図書館各館でも読書補助具などを備えています。今後も全館で、市民の皆様が読書を楽しめる環境の整備に取り組んでいきます。

広島市立図書館

図書館司書がおすすめするこの1冊「バリアフリー」

児童書

『車いすでジャンプ!』

モニカ・ロー／作
中井 はるの／訳
小学館 2023年



車いすモトクロスに夢中な12歳のエイミーは、家族の心配をよそにエアジャンプの練習に励んでいます。新しい競技用車いすを自分で買おうと決め、手作り雑貨を売ってコツコツ資金を貯めていました。ところが、ある日学校で転倒してしまい、特別支援プログラムにより介助員がつくことになり……。

生まれつき歩くことのできない少女が、自身の障害や母の死と向き合い、過度に干渉しようとする周囲の理解を得るために奮闘していく姿を描きます。

障害者を特別扱いするのではなく、当事者が普通の生活を送るために、本当に必要な支援とは何かを考えさせてくれる物語です。

一般書

『読書バリアフリー
サポート入門』

成松 一郎・
野口 武悟／著
読書工房 2025年



障害や健康上の問題、その他様々な理由から読めない状態に置かれても、本を読みたい、学びたい…。この本は、そうした「読書バリアフリー」を必要としている人をサポートするためのきっかけにと作られました。

読書のバリアを感じている人たちの状況の解説のほか、大活字本や電子書籍、布の絵本など多種多様な読書メディアや、図書館や出版社・書店における取組事例を写真入りで紹介しています。また、学校や家庭など身近な場所ですぐにできるサポートについても、Q&A形式でわかりやすく書かれています。

読書の可能性を広げてくれるツールやサービスと、それらの課題についても知ることができます。

広島4大プロコーナー

中央図書館9階「広島を知るフロア」には「広島4大プロコーナー」があります。

移転前に「広島3大プロコーナー」として設置していたコーナーを、令和8年2月の広島ドラゴンフライズ参画による「広島4大プロ(P4 HIROSHIMA)」の発足に合わせて拡大しました。

広島交響楽団・サンフレッチェ広島・広島東洋カープ・広島ドラゴンフライズに関する図書や雑誌、新聞のスクラップなどの資料をご覧いただけます。

「中央図書館に来れば広島4大プロのことは何でもわかる!」をコンセプトとしています。



広島4大プロコーナー

編集・発行

広島市立中央図書館
(公益財団法人 広島市文化財団)

〒732-0822 広島市南区松原町9番1号
エールエールHIROSHIMA 8~10階
TEL: 082(298)0560(代表)
082(298)0562(多目的室)
FAX: 082(298)0561

ホームページ



Facebook



Instagram

